

小田原市立小・中学校の教育環境に関するアンケート
報告書（概要版）

調査の実施概要

【調査の概要】

○ 調査対象

- 保護者：小学校3・4年生 中学校2年生の保護者
- 教職員：市立小中学校の教職員
- 地域：学校運営協議会委員・学校評議員

○ 調査期間

- 保護者・教職員：令和4年（2022年）7月15日（月）～8月22日（月）
- 地域：令和4年（2022年）8月31日（水）～9月22日（木）

○ 調査方法

- 保護者・教職員：オンライン調査（希望者は紙の調査票により回答）
- 地域：オンライン調査・紙の調査票の選択制

○ 配布・回収

	配布数	回収数			回収率
		郵送	オンライン	計	
保護者	4,237票	-	2,239票	2,239票	52.8%
教職員	916票	7票	645票	652票	71.2%
地域	311票	133票	86票	219票	70.4%

※自由記述の設問については、回答を「テキストマイニング」、「共起ネットワーク」という手法を用いて分析しています。

- ・テキストマイニング：文章を単語や助詞などの文節で区切り、単語の出現頻度や重要度（調査対象の文章のみ出現頻度が高い場合、重要度が高くなる）などを抽出・分析する手法。

赤：動詞 例：取り組める、知り合える
青：名詞 例：教育、クラス
緑：形容詞 例：通いやすい、深まりやすい

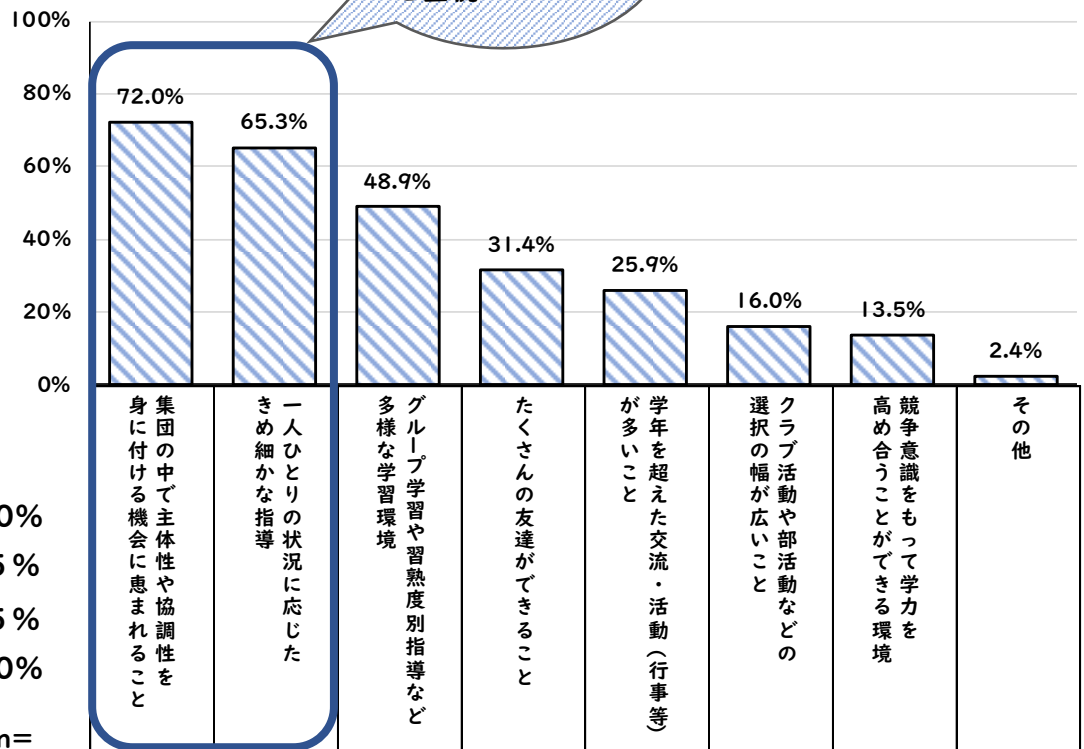
※使用サイト：User Local AIテキストマイニング

- ・共起ネットワーク：単語の関係性を可視化する方法で、出現頻度の高い表現や文全体の趣旨の把握に有効な手法。

※使用ソフト：KH Coder 3

○これからの学校教育で重視してほしいこと ※3つまで選択

どの属性も
“協調性”
“きめ細かな指導”
を重視



■ 全体 +10%
■ 全体 +5%
■ 全体 -5%
■ 全体 -10%

n=

属性		人数	身に着ける機会に恵まれること	一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導	グループ学習や習熟度別指導など多様な学習環境	たくさんの友達ができること	学年を超えた交流・活動（行事等）が多いこと	クラブ活動や部活動などの選択の幅が広いこと	競争意識をもって学力を高め合うことができる環境	その他
全体		3,097	72.0%	65.3%	48.9%	31.4%	25.9%	16.0%	13.5%	2.4%
保護者	小学校	1,574	67.3%	59.1%	47.1%	36.3%	29.5%	17.4%	13.7%	2.0%
	中学校	652	64.6%	68.1%	45.1%	29.8%	17.5%	24.1%	21.3%	2.9%
教職員	小学校	410	87.3%	83.2%	57.3%	22.4%	24.6%	3.2%	2.7%	4.1%
	中学校	242	86.4%	74.4%	57.9%	17.8%	18.2%	10.3%	9.5%	1.7%
地域	小学校	161	83.9%	55.9%	48.4%	36.6%	37.9%	6.8%	14.3%	1.2%
	中学校	58	84.5%	62.1%	41.4%	22.4%	29.3%	25.9%	10.3%	0.0%

保護者と教職員で重視する度合いが異なる

- 保護者は“たくさんの友達ができる”“部活動”などを重視している。
- 教職員は“協調性”や“きめ細かな指導”を重視している。
- 地域は“学年を超えた交流”や“部活動”などを重視している。

<考察>

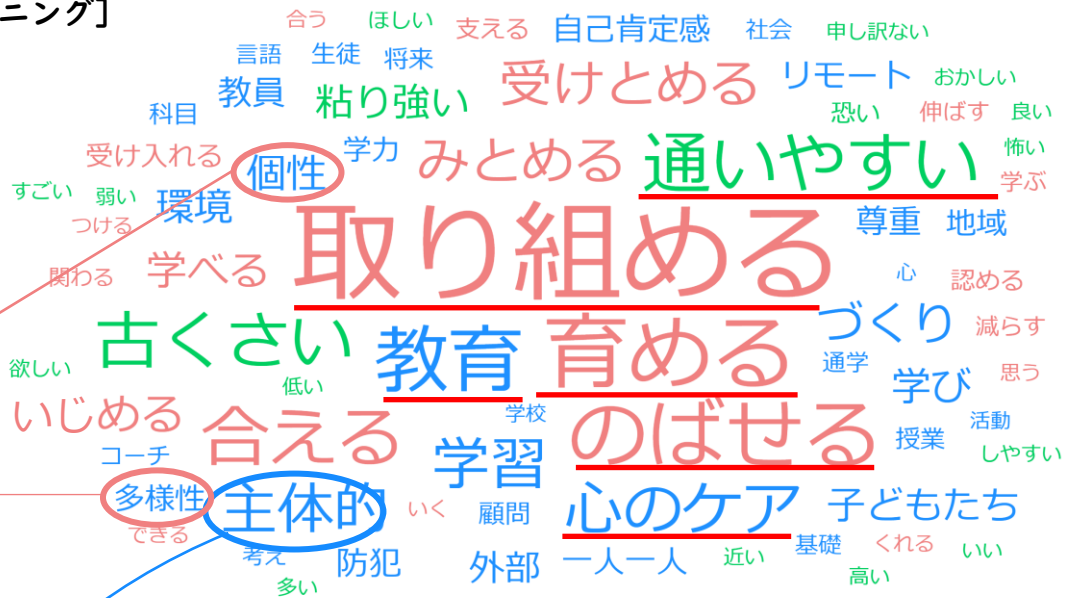
- 全体では、「集団の中で主体性や協調性を身に付ける機会に恵まれること」、「一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導」の順で高い割合。
- 教職員は、全体と比較して「たくさんの友達ができること」、「クラブ活動や部活動などの選択の幅が広いこと」、「競争意識を持って学力を高め合うことができる環境」の割合が低い。中学校の保護者は全体と比較して、「クラブ活動や部活動などの選択の幅が広いこと」、「競争意識を持って学力を高め合うことができる環境」の割合が高くなっている。
- 地域は、「学年を超えた交流・活動（行事等）が多いこと」の割合が高い。これは保護者、教職員でも小学校では重視している割合が高くなっている。

○これからの学校教育で重視してほしいこと・自由意見（80件）

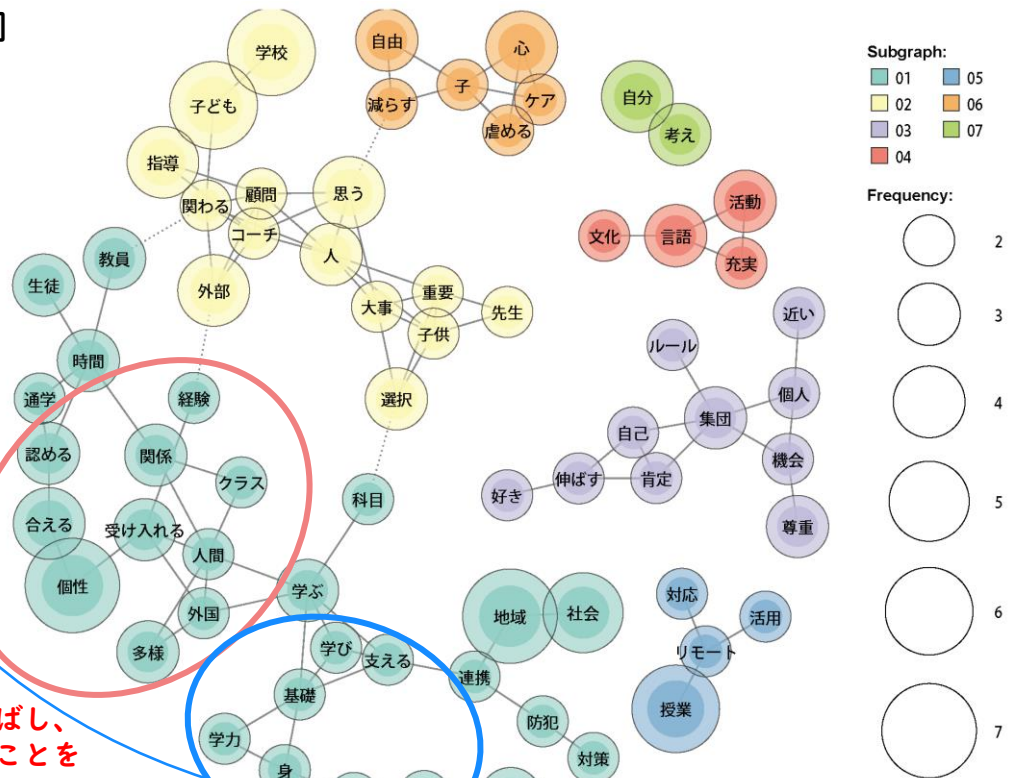
<主な意見>

- 誰もが安心して学習に取り組めること。粘り強く取り組める環境づくり。
- 個性を認め合え、長所や好きな事を伸ばせること。自由に個性をのばせる。
- 集団に馴染ませる訓練ではなく、子ども達が自己肯定感を育めるような環境。
- 通いやすい雰囲気。
- 虐められた子の心のケアはもちろん、虐めている側の心のケア。
- 主体的に考える意欲や行動力を身につけること。
- 個性を受け入れる、画一的な価値観で評価することのない教育。
- 自分の意見をはっきり言える、また自己肯定感を伸ばす教育。
- 一方的な授業ではなく自分の考えを持って発言でき、認め合える教育。

[テキストマイニング]



[共起ネットワーク]

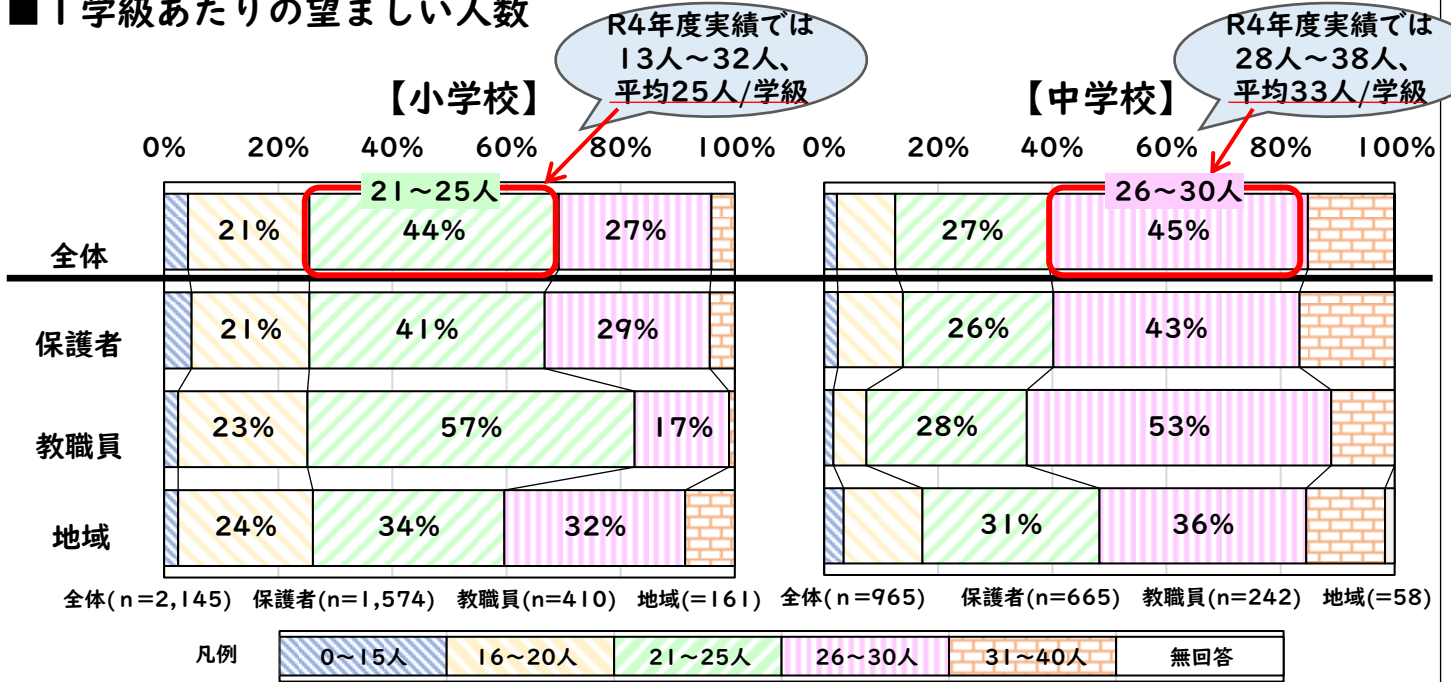


「個性」を認め、のばし、
「多様性」を認めることを
大切に感じている

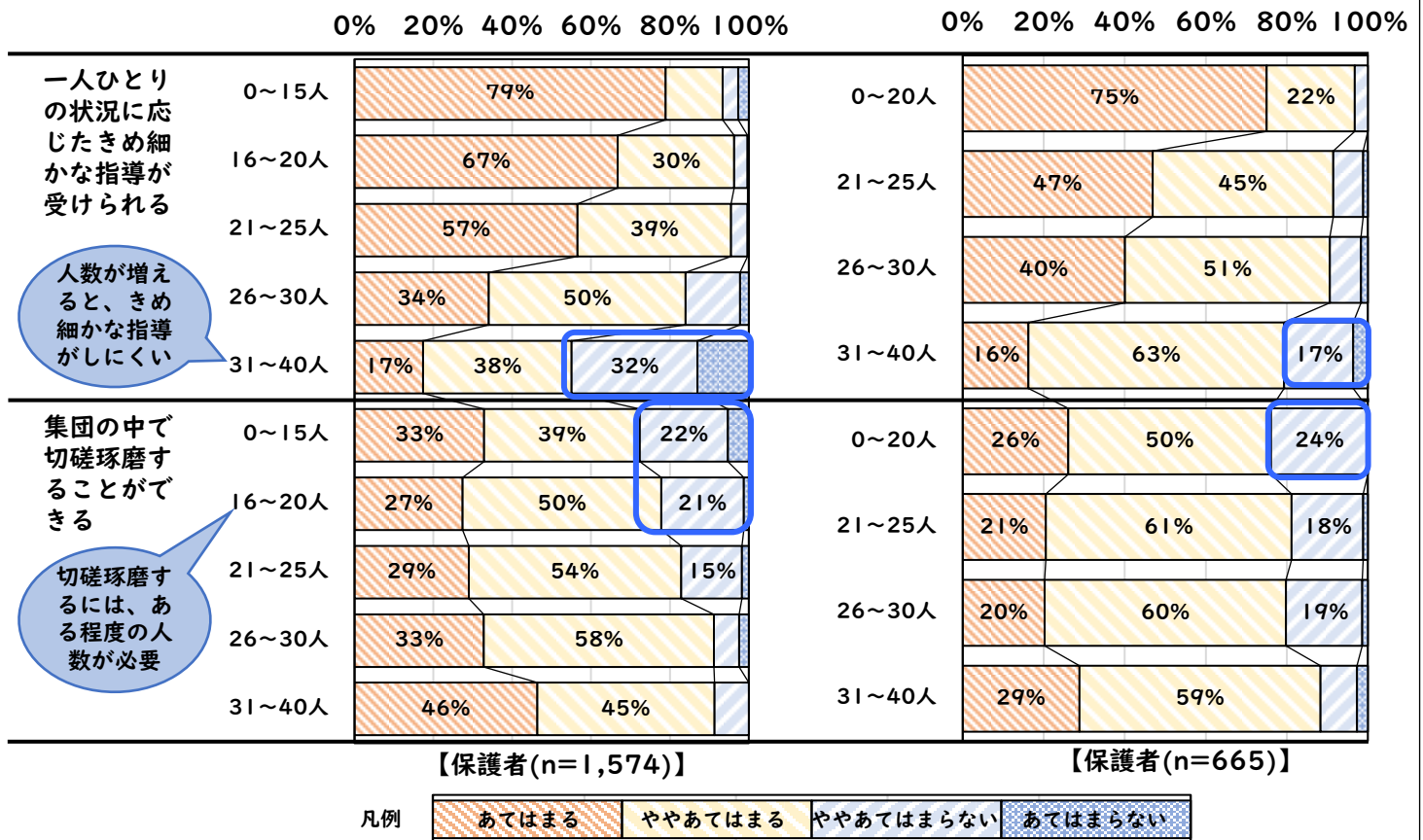
「主体的」に学ぶ・考えることも重視

○1学級あたりの望ましい人数とその理由

■1学級あたりの望ましい人数



■理由



<考察>

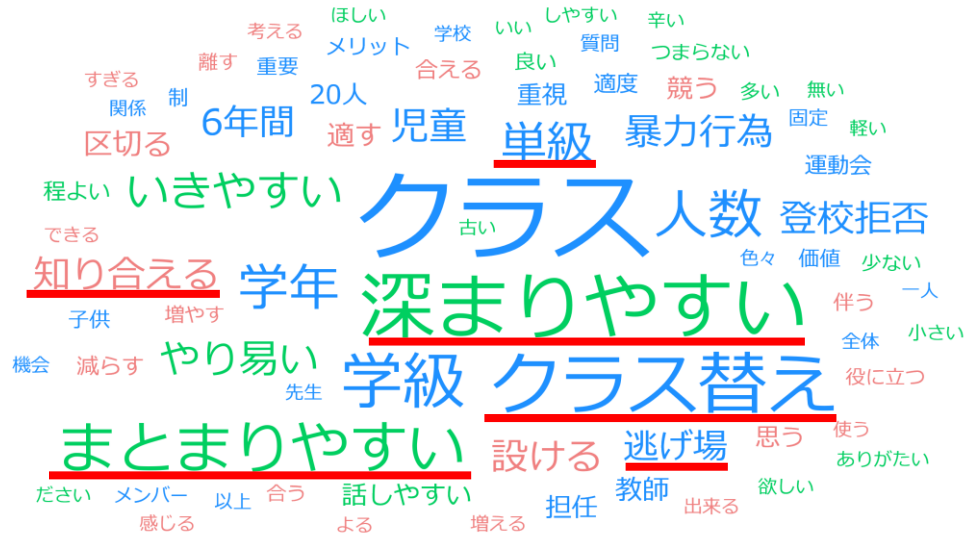
- 全体として、小学校は「21～25人」、中学校は「26～30人」が多い傾向。
- 主な理由として、「一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導が受けられる」を選択した人は、少人数学級が望ましいと考える傾向が高く、「集団の中で切磋琢磨することができる」を選択した人は、26人以上の学級を望ましいと回答した割合が90%を超えている。

○1学級あたりの望ましい人数とその理由・自由意見（152件）

<主な意見>

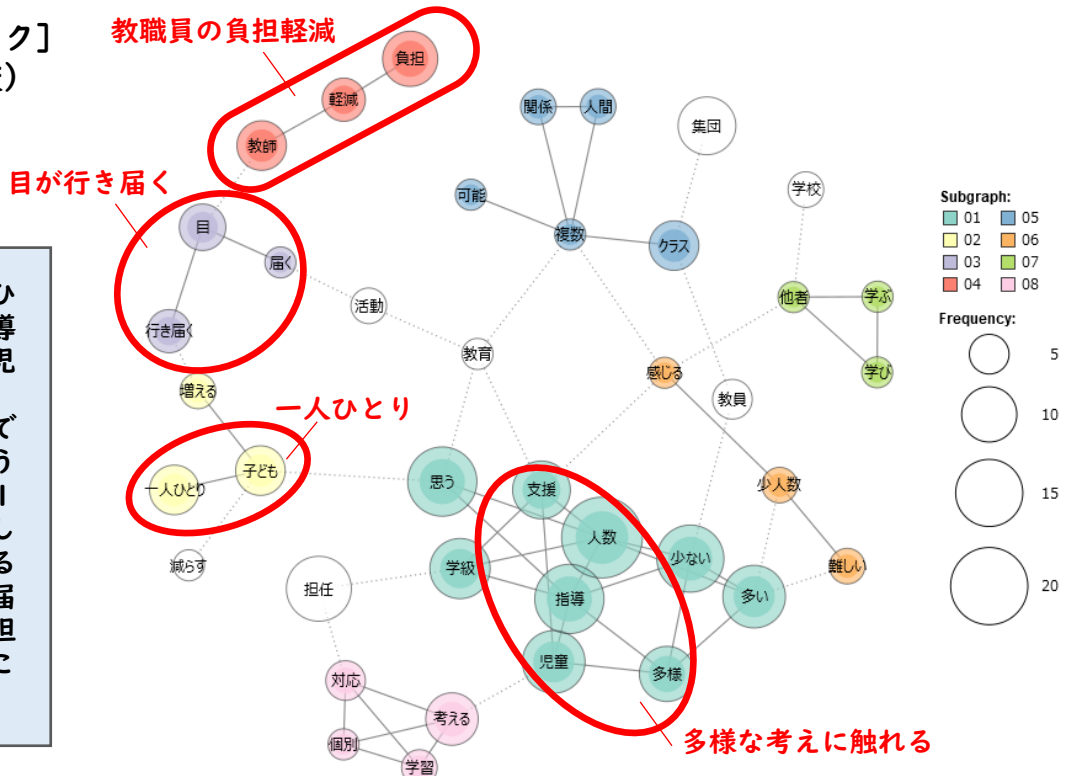
- [保護者]
- 子供が多い方が活気があっていい。小中学校くらいじゃないと色々な価値観を持った人と知り合える機会が少なくなる。
 - 2クラスだと、程よく友達との距離が深まりやすいような気がする。
 - クラスのメンバーが固定されすぎず、またクラス替えがあってもクラスメートになったことのある子が数人いるくらいの学級数が良いと思う。
 - 1クラスだと気が合わない同級生と衝突が起きた時にクラス替えできず逃げ場がない。
 - 子供の人数が多ければ、いろんな刺激を受けることが出来るし、回避することも出来るから、単級よりはいいと思う。
- [教職員]
- 30人以下であれば、児童一人ひとりに目が行き届きやすいと考える。
 - 多様な体験と一人ひとりに目が行き届くことのバランスのとれた人数がこの選択肢の範囲だと思う。
 - 少人数は、指導が行き届きやすいという利点があるが、多様な考えに触れることが難しい場合もある。多すぎず、少なすぎず、適度な人数の学級集団が良いのでは。

[テキストマイニング] 保護者（小学校）



保護者（小学校）は、子ども同士の人間関係での問題等を懸念し、クラス替えの必要性を感じている。

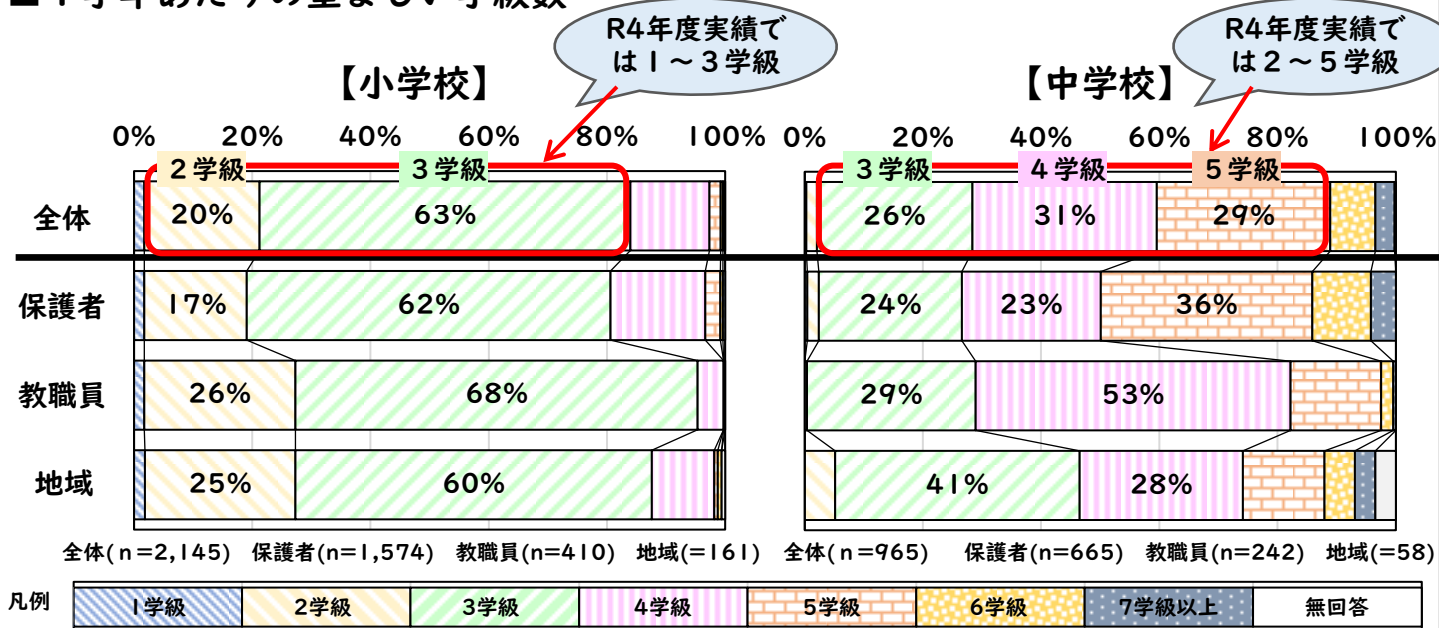
[共起ネットワーク] 教職員（小学校）



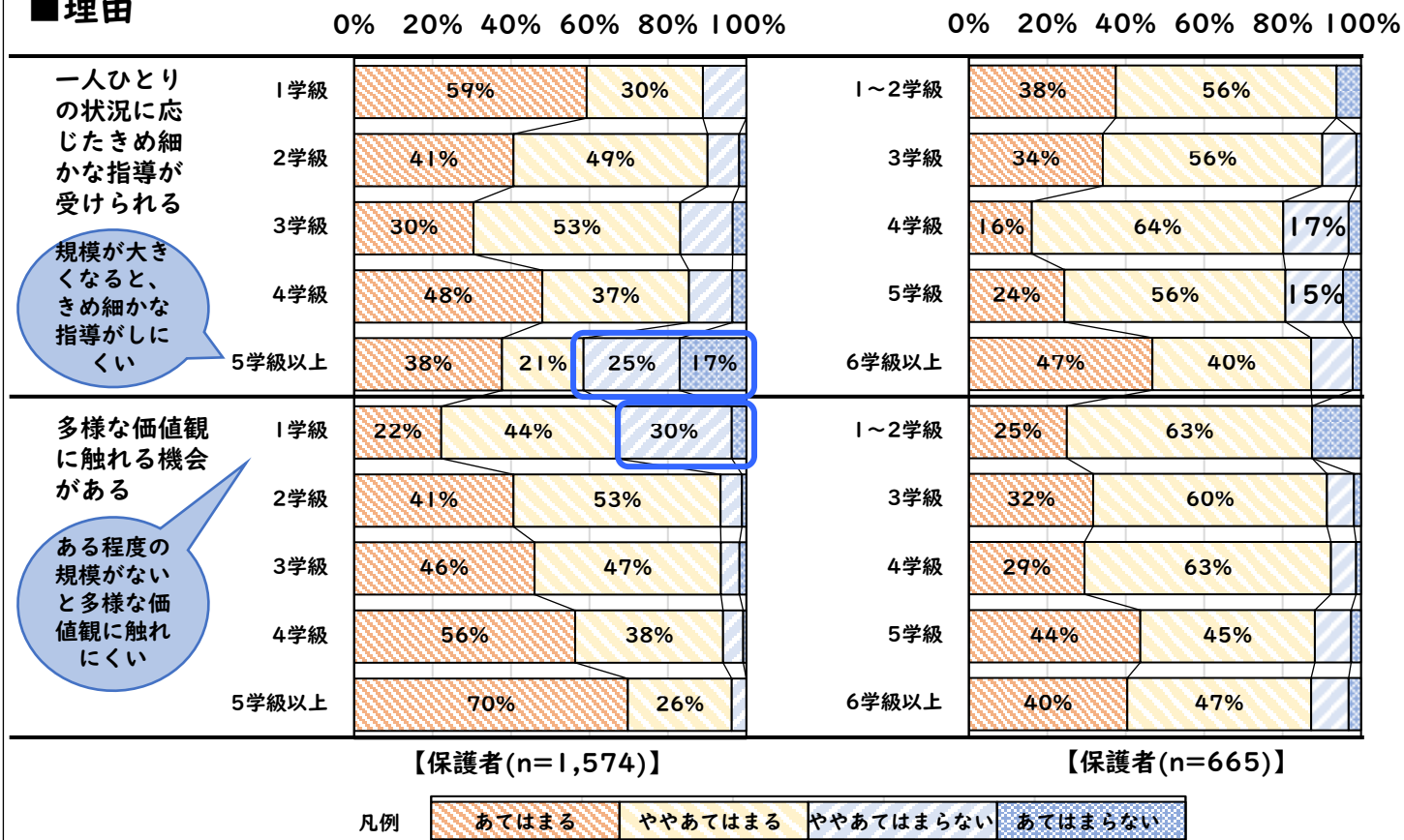
教職員は、「一人ひとり」にあった指導や「支援を要する児童」「多様な児童」などの対応が必要であり、これらを行うために見合った「1学級あたりの望ましい人数」を設定することで「目が行き届き」、「教員の負担軽減」につながることを期待している。

○1学年あたりの望ましい学級数とその理由

■1学年あたりの望ましい学級数



■理由

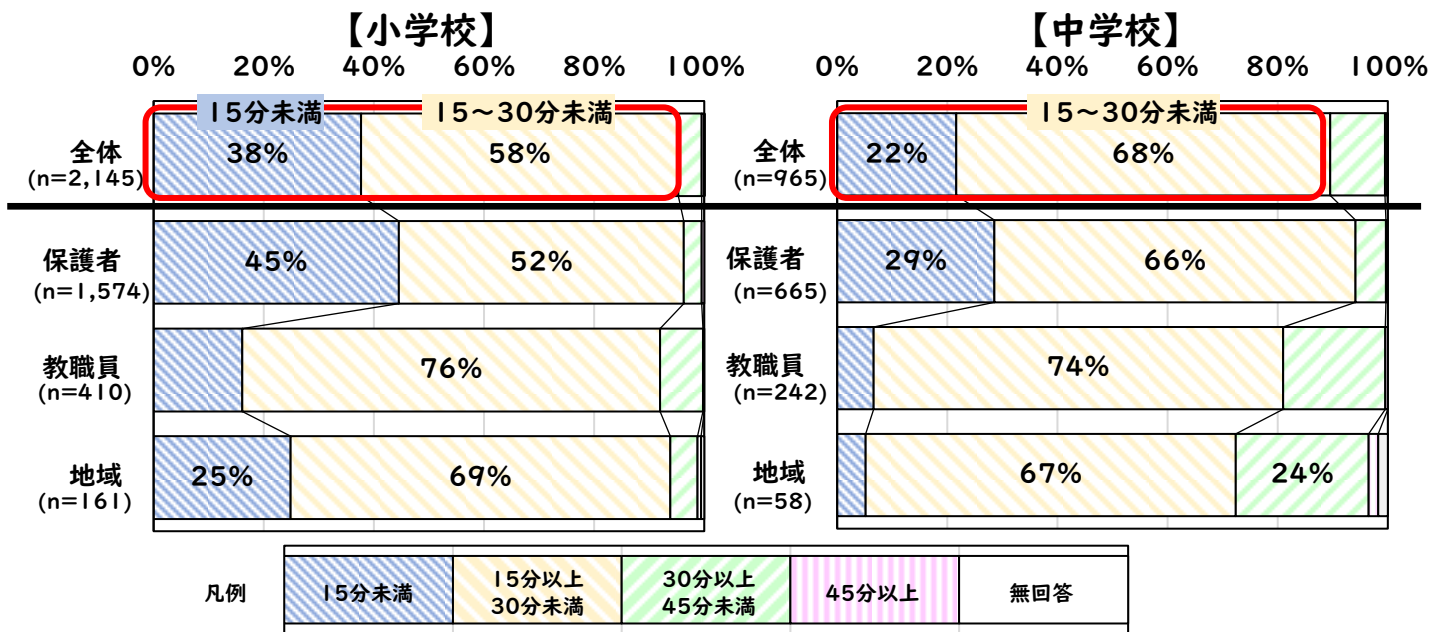


<考察>

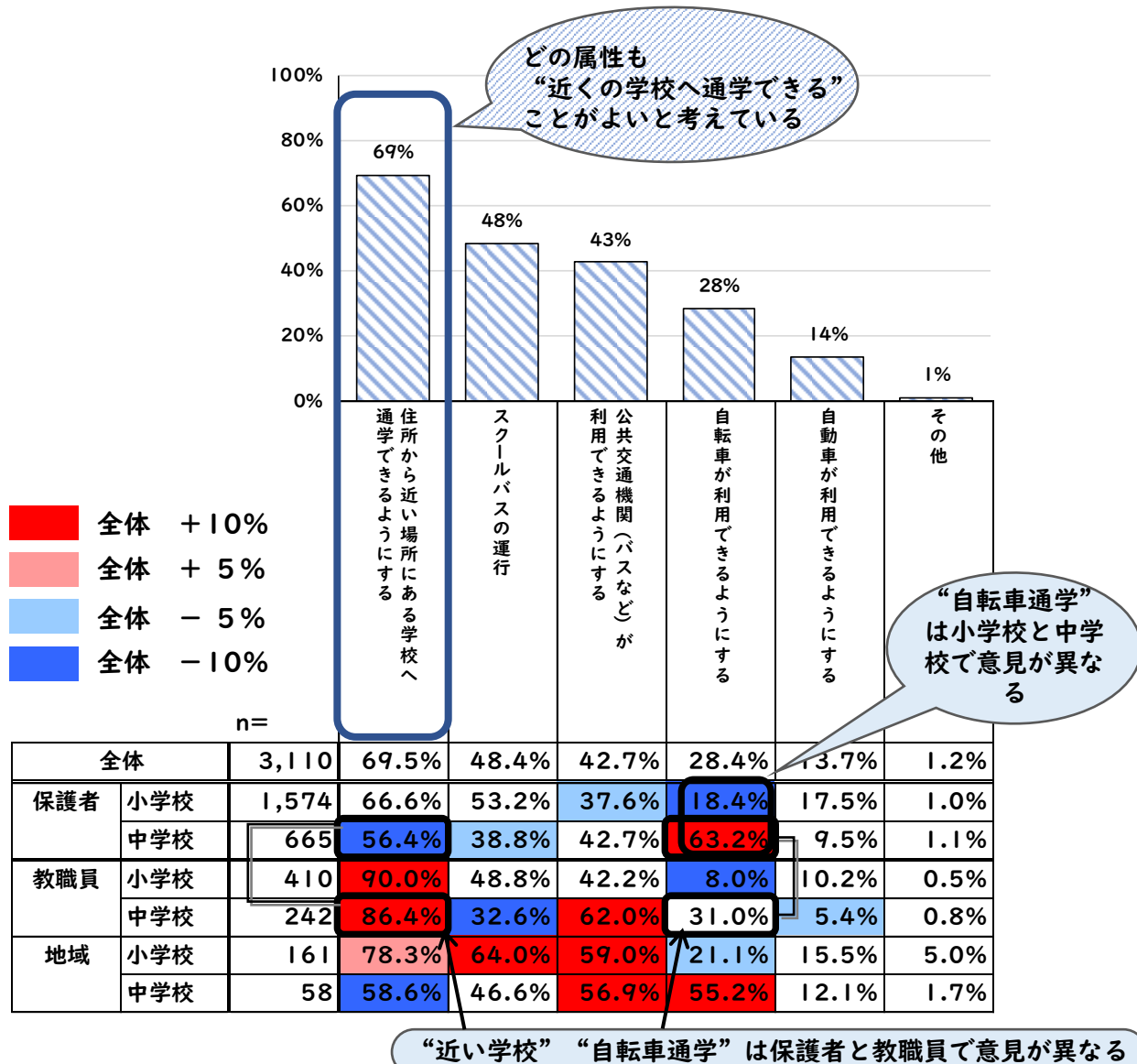
- 全体として、小学校は「3学級」、中学校は「3～5学級」が多い傾向。
- 主な理由として、「一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導が受けられる」では望ましい学級数5学級以上だと、あてはまらない傾向が高く、「多様な価値観に触れる機会がある」は望ましい学級数が多くなるにつれあてはまる傾向が高い。

○望ましい通学時間の許容範囲と必要な配慮

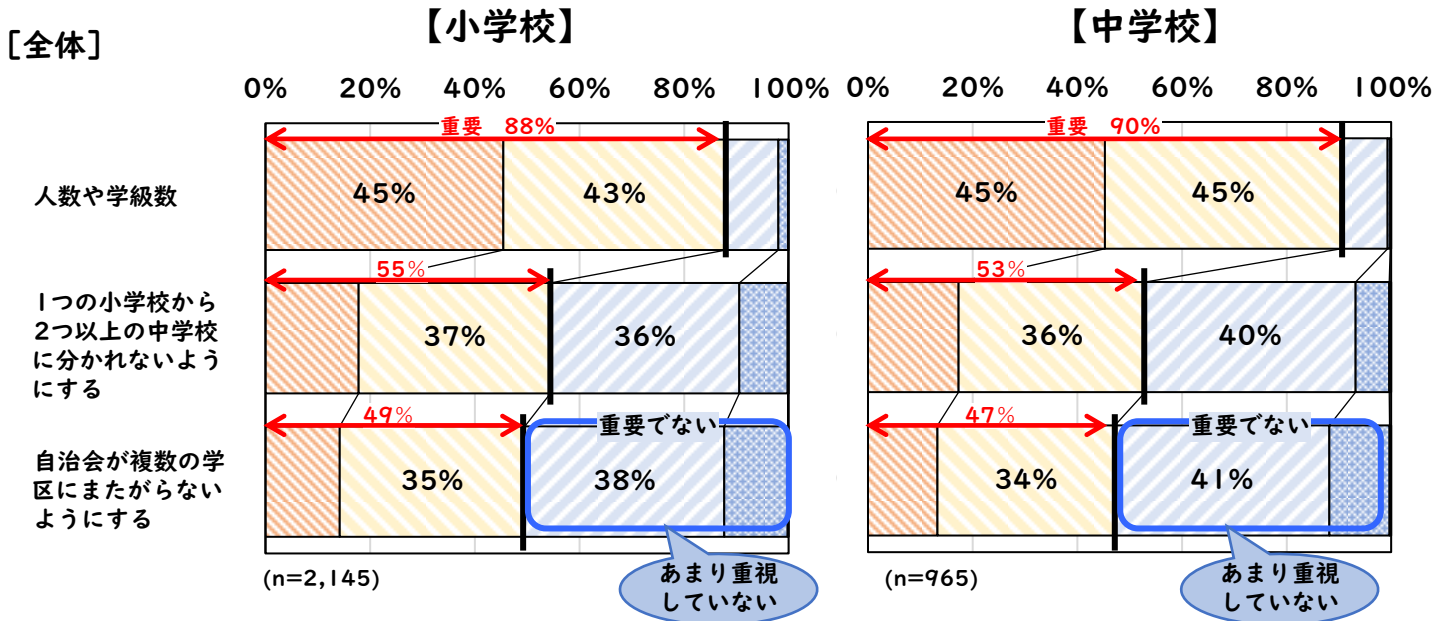
■ 通学時間（片道）の許容範囲



■ 徒歩で通学することが難しい場合に必要な配慮 ※3つまで選択

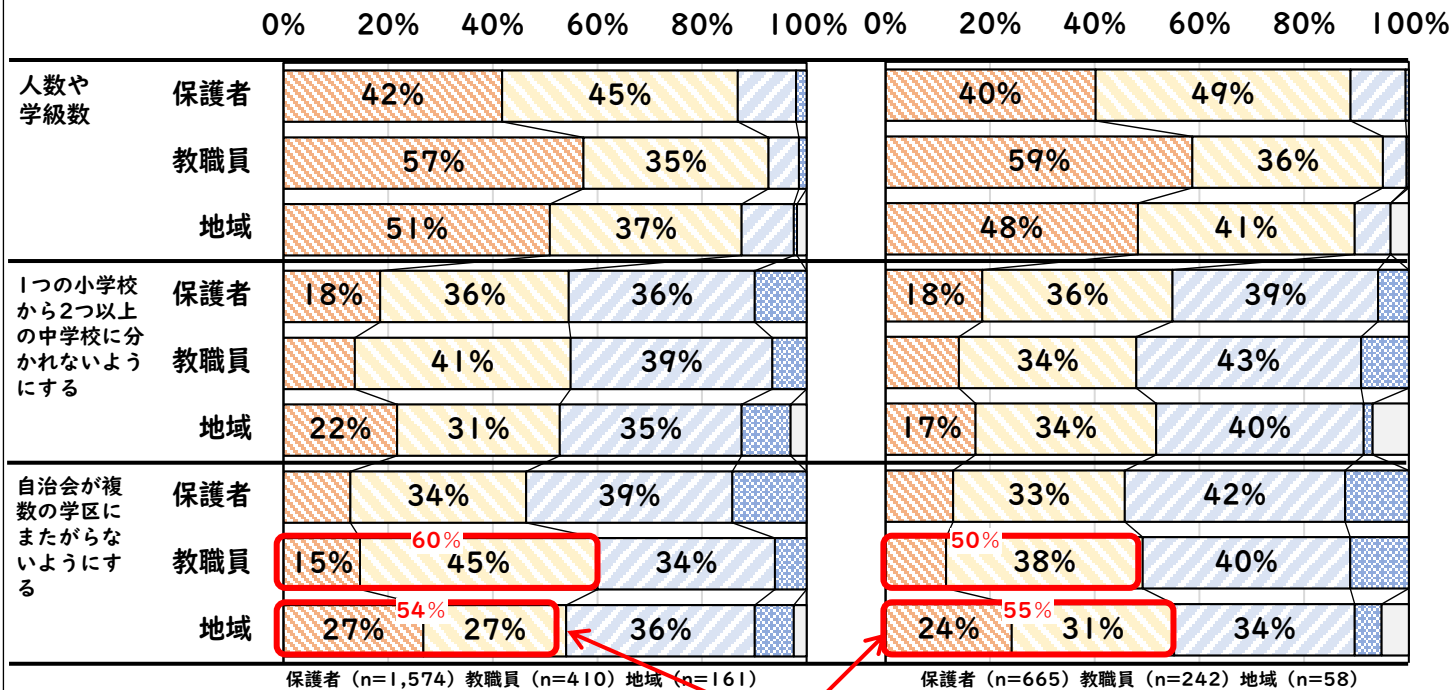


○学区の見直しをする場合に重要と考える事項



凡例	とても重要である	まあ重要である	あまり重要でない	全く重要でない	無回答
----	----------	---------	----------	---------	-----

[属性別]



“自治会と学区”の関係については、教職員と地域は重視している傾向にある

<考察>

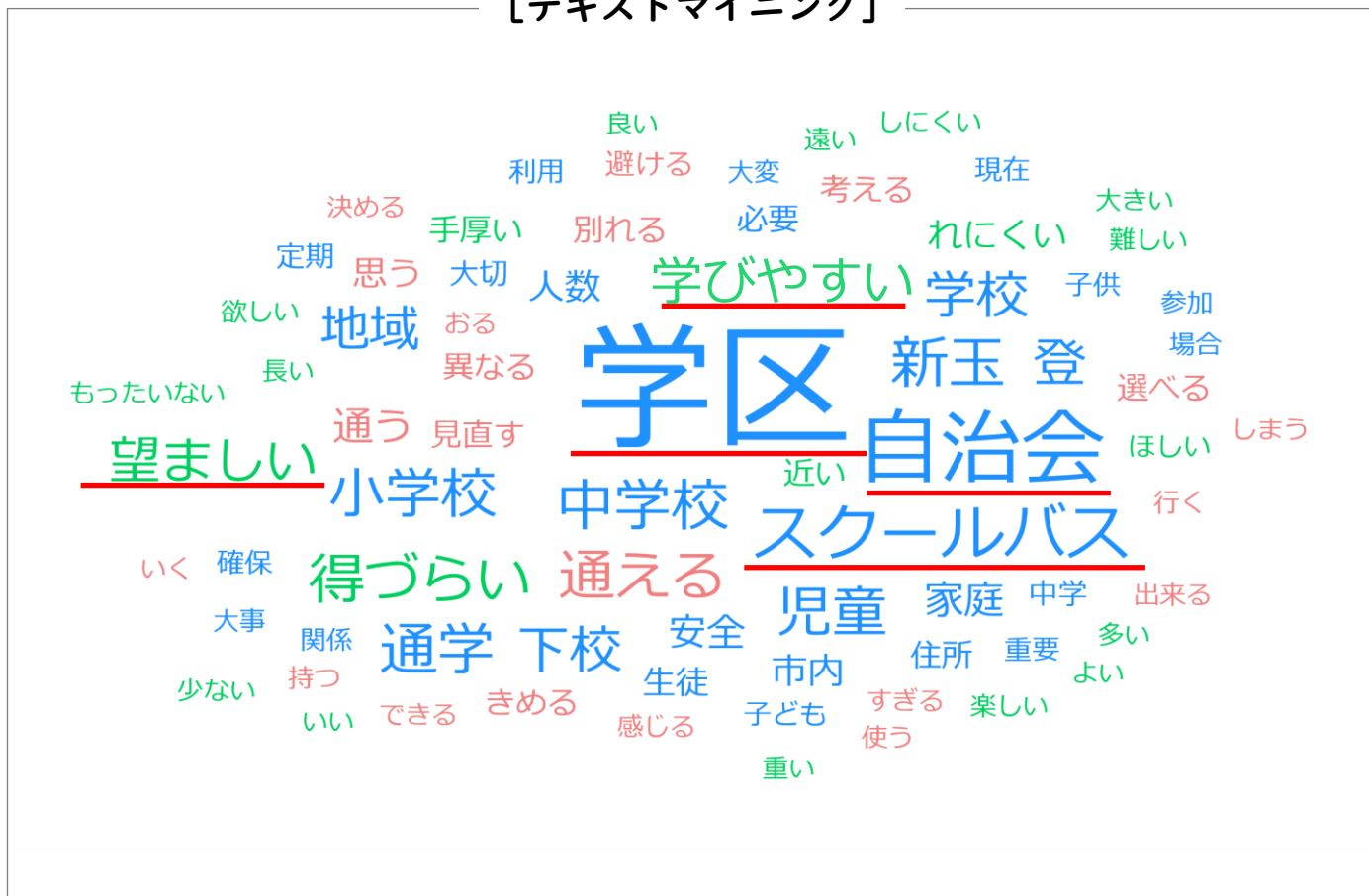
- 全体として、学区の見直しにおいて「人数や学級数」が重要と考える割合が高い。
- 「1つの小学校から2つ以上の中学校に分かれないようにする」では、「重要である」の回答が約50%であり、学区の見直しをする場合にあまり重視されていない。
- 「自治会が複数の学区にまたがらないようにする」についても、小学校、中学校どちらも全体において、「重要ではない」の回答が「重要である」より高くなっている。

○学区の見直しをする場合に重要と考える事項・自由意見（82件）

<主な意見>

- ・ 少人数の学校と大規模校では手厚さが違い、様々な点で差があり不公平感を感じます。市内で不公平感を減らした方がいいと思います。
- ・ 人数や学級数が重要な理由は、多すぎないようにしたいと考えるからです。
- ・ 児童数の減少により学区の再編や学校の統廃合が検討されるのはある程度は理解できる。
- ・ 現在の学区で指定されている中学校よりも近い中学校があるのに、遠い方へ通わなければならないことに疑問があります。自宅からの距離に応じて近い学校を選べるようにしていただきたいです。
- ・ 猛暑や、交通事故、不審者などの心配があるなか、長くても20分を超えるような家庭からの登下校には十分な配慮が必要だと感じます。スクールバスの導入が必要な学校もあると感じます。
- ・ 子ども達の学びの場としての本質は、学びやすさ以上に学びの質を大切にすることが重要だと思います。
- ・ 自治会が複数の学区にまたいでいると、人数が少ない学区の子は後で自治会に参加しにくい。
- ・ 地域の繋がりががあるので、小学校区を分断するような学区再編は無しにしてほしい。
- ・ 現在の学区は、かなり前の自治会のエリアがベースになっており、現在の人口分布とは、アンバランスである。
- ・ 学区内で、2つの自治会連合会が混合の為、地域行事が住所で分断され、同じ学校でありながら、児童の参加が分断されてしまっている。他学校の様に同一参加が望ましいと思います。

[テキストマイニング]



○これからの学校施設に期待する機能

[保護者・教職員・地域]

【小学校】

【中学校】

0% 20% 40% 60% 80% 100% 0% 20% 40% 60% 80% 100%

安全・安心な学校

92%

90%

児童・生徒が快適に
学習できる環境

88%

86%

教職員が快適に働ける環境

79%

19%

74%

24%

バリアフリー・ユニバーサルデザイン
の推進

54%

39%

54%

39%

環境への配慮

52%

42%

53%

42%

地域の方が使えるスペースの
充実

25%

43%

25%

21%

43%

30%

避難所機能の強化

59%

35%

56%

36%

子育て支援機能との複合化

42%

44%

33%

47%

凡例

あてはまる

ややあてはまる

ややあてはまらない

あてはまらない

具体的には

具体的には

○これからの学校施設に必要と思うもの

[教職員]

0% 20% 40% 60% 80% 100%

0% 20% 40% 60% 80% 100%

普通教室の充実

54.6%

普通教室の充実

60.7%

支援を要する児童生徒が快適に
学習できるスペース

50.2%

特別教室の充実

43.0%

少人数で学習等できるスペース

28.8%

職員が快適に執務・生活できるスペース

32.2%

特別教室の充実

23.4%

バリアフリー・ユニバーサルデザインの充実

27.7%

職員が快適に執務・生活できるスペース

23.4%

支援を要する児童生徒が快適に
学習できるスペース

27.3%

バリアフリー・ユニバーサルデザインの充実

22.9%

少人数で学習等できるスペース

17.8%

多人数で学習等できるスペース

19.5%

防犯対策による安全・安心面の配慮

16.9%

防犯対策による安全・安心面の配慮

19.0%

トイレ空間の充実

14.9%

トイレ空間の充実

15.1%

多人数で学習等できるスペース

14.0%

図書やパソコンがあり、
調べ学習等できるスペース

10.2%

図書やパソコンがあり、
調べ学習等できるスペース

14.0%

災害時に必要な設備の充実

9.0%

災害時に必要な設備の充実

12.8%

休憩コーナーなど快適に過ごせる施設

6.3%

休憩コーナーなど快適に過ごせる施設

5.0%

水泳授業ができる室内プールの整備

3.9%

その他（自由記述）

3.3%

食育の充実に資する
給食調理室等の整備

2.9%

地域の方が子供達と交流できるスペース

2.9%

地域の方が子供達と交流できるスペース

2.7%

食育の充実に資する
給食調理室等の整備

1.2%

その他（自由記述）

2.0%

水泳授業ができる室内プールの整備

0.0%

<考察>

- これからの学校施設に期待する機能としては、「安全・安心な学校」、「児童・生徒が快適に学習できる環境」が共に100%近くを占めている。
- 「児童・生徒が快適に学習できる環境」について具体的なものとして、教職員は、「これからの学校施設に必要と思うもの」において、「普通教室の充実」、「支援を要する児童生徒が快適に学習できるスペース」、「少人数で学習等できるスペース」、「特別教室の充実」を必要と考えていることがわかる。

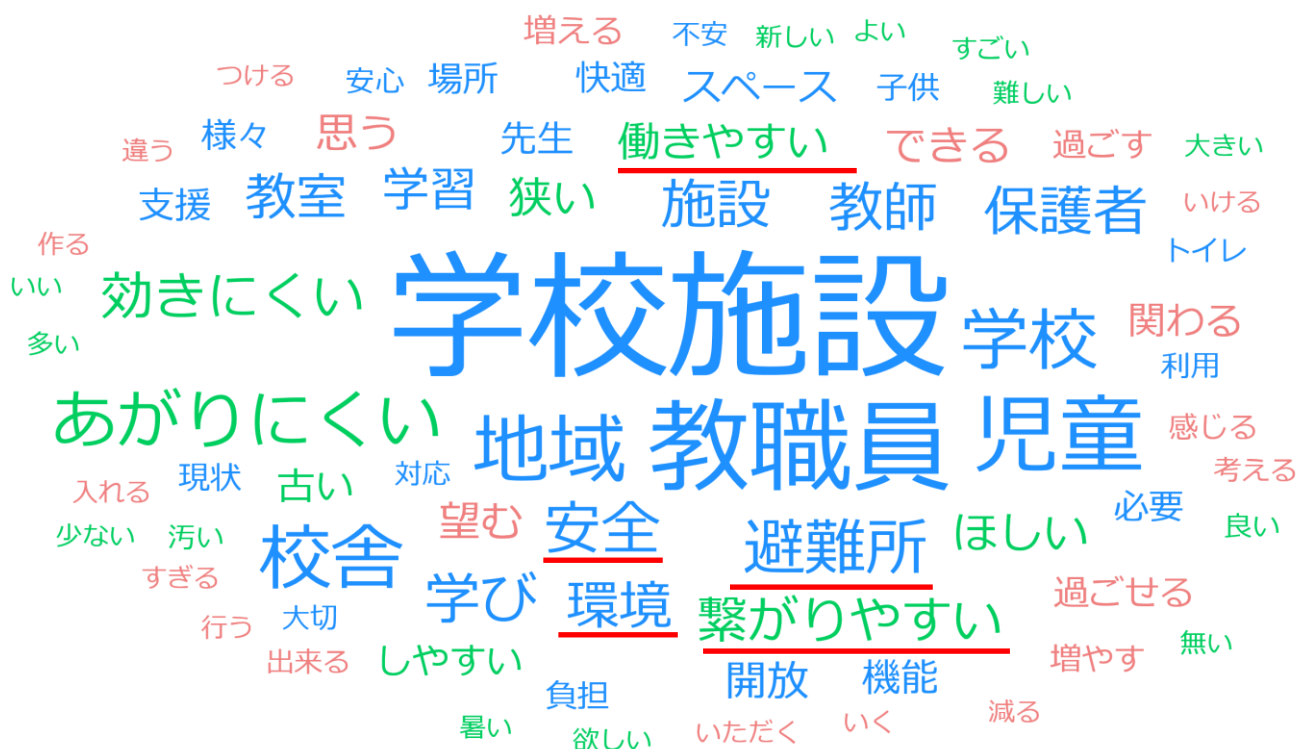
○これからの学校施設に期待する機能・自由意見（99件）

保護者、教職員、地域

<主な意見>

- どの地区も学校の老朽化が進んでいるので、特定の場所に偏らず、災害等の避難所になる場所が大抵学校なので建て直しも検討できると良い。
- 学校に警備員や管理人がいるわけではないので、理想をいえば、避難所や地域の方が使うスペースと学校で使うスペースとが重複せずに別々の場所であってほしい。
- 先生方が働きやすい環境が、子供の情緒に1番良いと思う。地域の方が入りやすいと、学校の安全や安心に繋がりにやすいと思う。
- 児童や職員が快適に過ごすことができる環境は災害時避難してきた人も快適に過ごすことができると思う。体育館など避難した際、夏は暑く冬は寒い。とても避難できる場所ではないと思う。
- 先生方と生徒達が長い時間過ごす場所なので先生方の意見を沢山取り入れて、意欲的に学べるスタイルの空間の学校になって欲しい。勉強面では、Wi-Fi環境や図書館の充実、放課後友達と勉強ができるスペースが利用出来るなど、興味を広げたり、深める作業がしやすい環境をつくる。
- 地域の方がいるからこそ、子どもの安全が守られてると思います。地域の方が、学校に来ること、使用できることで関心を持ち、子どもたちのことも気にかけてもらえてるのだと思います。
- 安全性は保ちつつ地域に開かれた学校を作って欲しい。学校の中に介護のデイサービス、子育て支援センターがあるなど。同じ送迎バスを利用できるなど。

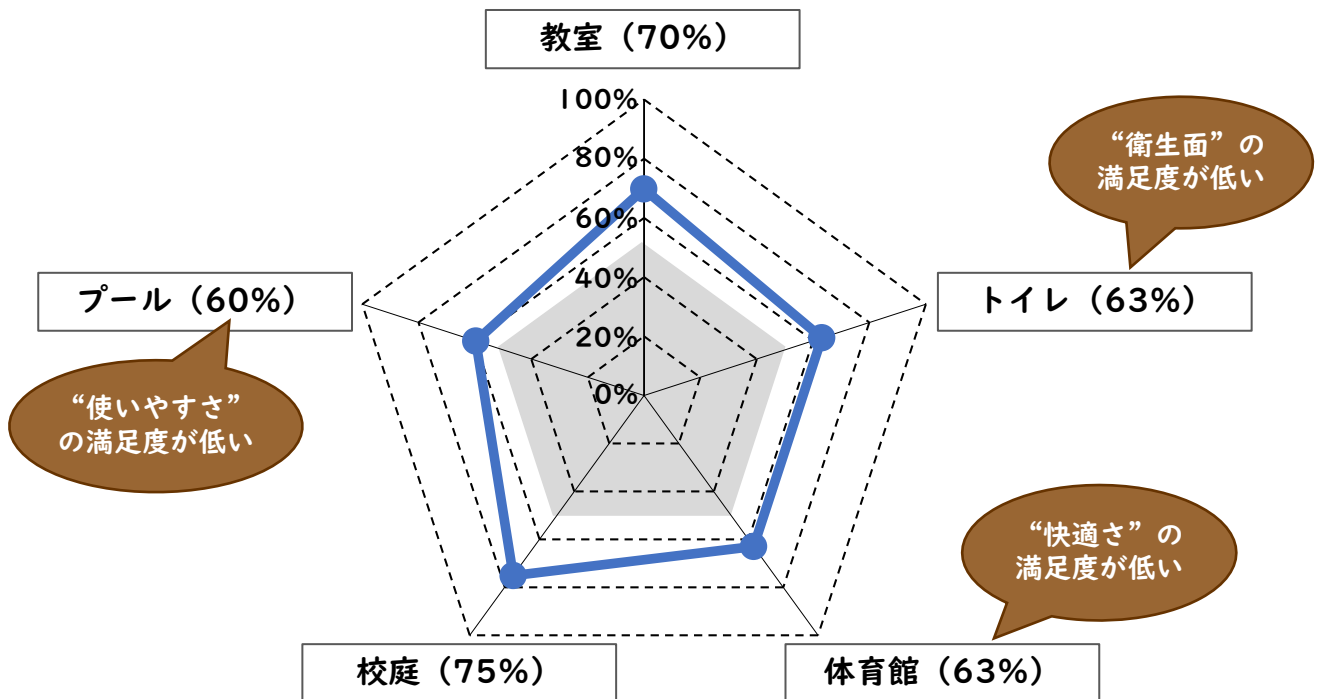
[テキストマイニング]



○現在の学校施設についての評価

■諸室別の満足度【小学校・中学校合計】 / 【保護者・教職員・地域合計】

※数字：満足+やや満足を合わせた値



■学校別・諸室別の満足度ランキング

※数字：満足+やや満足を合わせた値

小学校(n=1,574)

No		小学校：教室		No		小学校：トイレ		No		小学校：体育館		No		小学校：校庭		No		小学校：プール	
1	快適さ	77%	1	安全	70%	1	広さ	83%	1	広さ	84%	1	広さ	74%					
2	広さ	76%	1	広さ	70%	2	安全	77%	2	安全	77%	2	安全	56%					
3	安全	72%	3	快適さ	58%	3	使いやすさ	70%	3	使いやすさ	73%	3	使いやすさ	52%					
3	使いやすさ	72%	4	衛生面	46%	4	快適さ	38%											

「衛生面」が低い

「快適さ」が低い

中学校(n=665)

No		中学校：教室		No		中学校：トイレ		No		中学校：体育館		No		中学校：校庭		No		中学校：プール	
1	快適さ	65%	1	安全	68%	1	広さ	66%	1	広さ	72%	1	広さ	68%					
2	使いやすさ	59%	2	広さ	67%	2	安全	63%	2	安全	68%	2	安全	53%					
2	広さ	59%	3	快適さ	58%	3	使いやすさ	56%	3	使いやすさ	65%	3	使いやすさ	48%					
4	安全	57%	4	衛生面	43%	4	快適さ	28%											

「衛生面」が低い

「快適さ」が低い

「使いやすさ」が低い

<考察>

- 全体として、校庭の満足度が高く、プールの満足度が低い。
- 個別に見ると、特にトイレの「衛生面」、体育館の「快適さ」の満足度が小学校・中学校ともに低い。

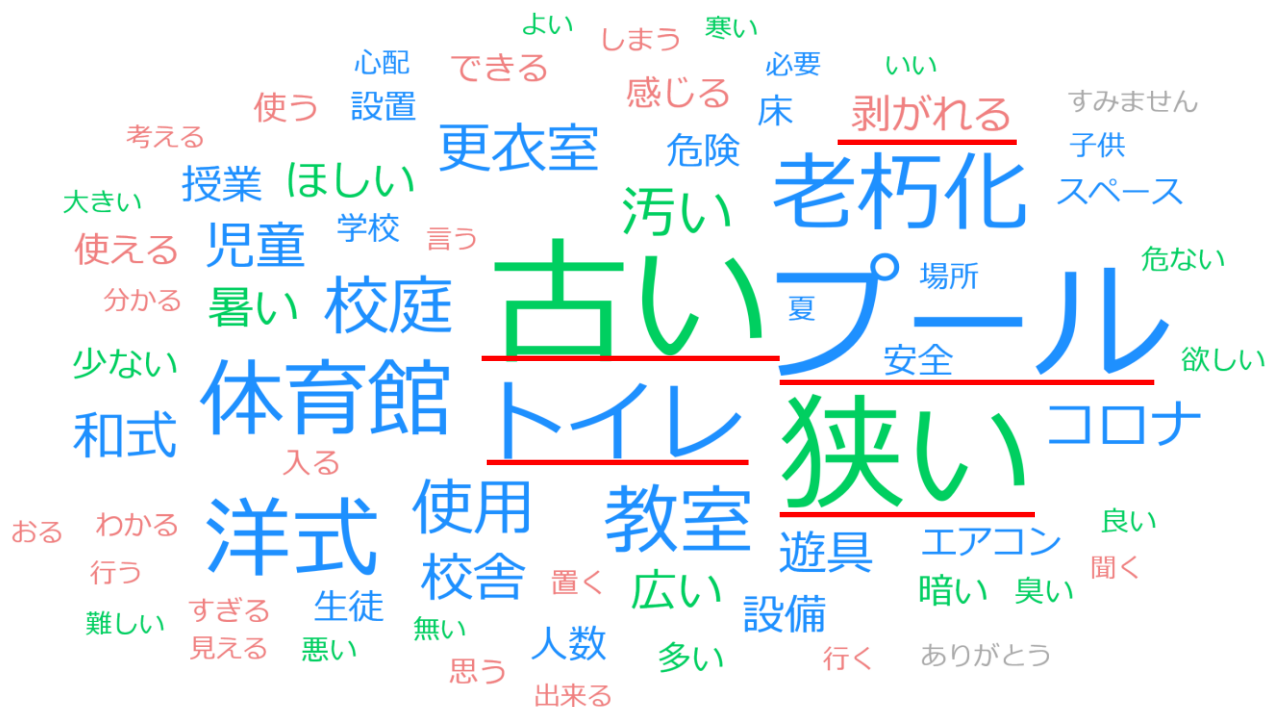
○現在の学校施設についての評価・自由意見（2,048件）

保護者、教職員

<主な意見>

- 小学校も中学校も改修工事した箇所以外のトイレが古い。
- 学校自体が古い事もあり、ランドセルの棚など収納関係や、教室によっては天井などが痛んでいるのが気になる。
- 古いので安全性が疑問。夏場暑くて体育中体調が悪くなることもある。災害時の避難場所としての活用も考えた作りが望ましいと思う。
- 古い校舎で壁にひび割れ等が目立つ。災害時心配である。
- 和式しかないトイレがある。古いし、暗い感じがする。サンダルが便器の中に突っ込まれているなどの問題も起きやすい。
- 洋式化が進んでいない。水の流れが悪い所もある。
- すべてのトイレを洋式化したほうが良い。
- 感染症対策や活動するスペースを考えると、教室は狭い上に床の痛みもひどい。
- 設備が古く、塗装が剥がれるなど安全面で課題がある。
- 更衣室が薄暗く狭い。
- 空調設備は整ってきてありがたい。テレビなどの視聴覚機器やICT機器充電保管庫、掃除用具置き場、給食配膳台などが教室にあり、児童の人数が少なくても手狭に感じる。
- タブレットを使うようになると、机の大きさを現在より大きくしていく必要がある。教室もこれに合わせた広さが必要である。

[テキストマイニング]

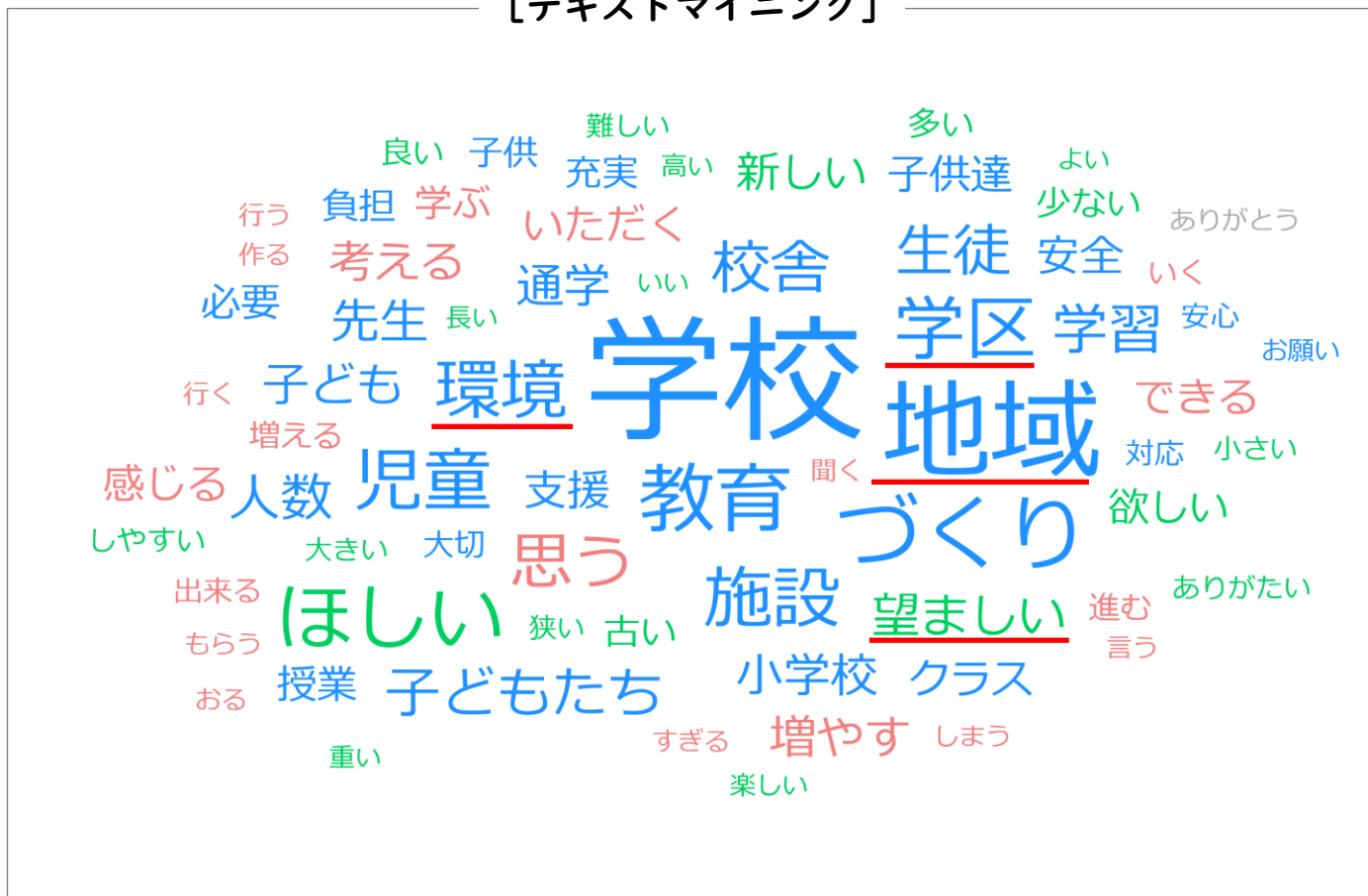


○新しい学校づくりに対する意見や要望（782件）

<主な意見>

- 学区の境目に住んでいるため、どちらかといえば、隣の小学校の方が近い。10分位通学時間が違うと思います。できれば近い小学校に通わせたい。学区に縛られず、入学時に選択出来たら良いと思う。
- 少子化だからと学区の統廃合を検討するのではなく、新たに人口を呼び込み少子化に歯止めをかけるような気概を持って、本腰を入れて取り組んでほしい。開成のように、きれいな校舎はそれだけで地域の魅力に直結する。
- 学区編成の見直しは必要かと思う。子ども達の安全を守るため遠方の場合はスクールバスの導入を検討して欲しい。
- 教師の人数を増やして負担を軽くしてあげて、質を向上させて欲しい。1クラス当たりの生徒数を少なくし、少人数をきめ細かく指導して欲しい。
- 学校は地域の中にあって地域と共に歩んでいくことが本来の姿である。地域住民か様々な面で大いに参加する中で子どもたちの成長があると思う。だから、学校は施設のみならず運営面においてもより地域一体型にしていくことが望ましいと思う。
- 生徒の多様性を生かした教育環境を整えてあげたい。教職員の人員増加、少人数学級を実現できる環境整備、老朽化のひどい校舎のリフォームや建て替えなど、少しずつ良くなることを期待している。
- 学校の地域との関わり方や、施設の充実について考える事も大切であるが、先生方が学習指導面でも、人間力の面でも豊かな学びの機会があるように取り組んで欲しいと思う。
- 地域コミュニティの場を含め、複合施設としての機能を具備したものであって欲しい。

[テキストマイニング]



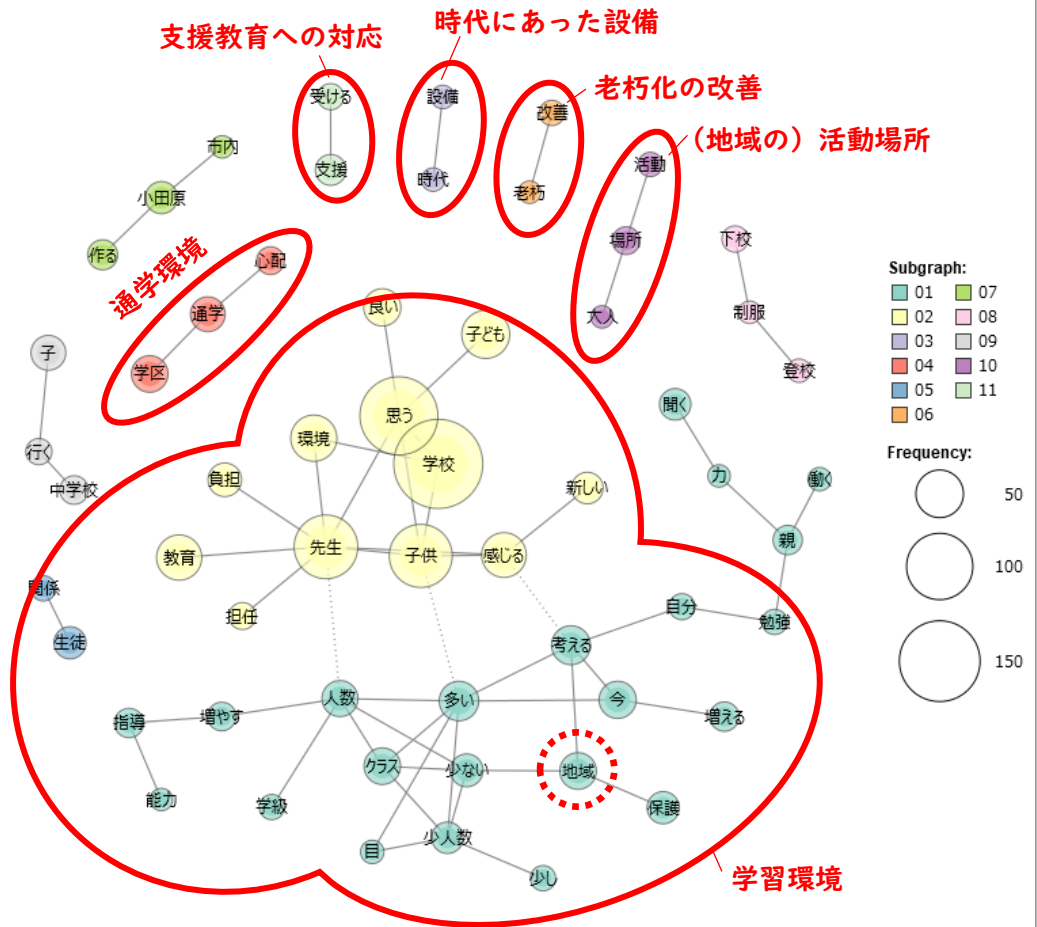
○新しい学校づくりに対する意見や要望（782件）

[共起ネットワーク] 保護者（小学校）

保護者（小学校）の意見や要望として、以下の項目が多いことが読み取れる。

- ・学習環境
- ・支援教育への対応
- ・時代にあった設備、老朽化の改善
- ・(地域の)活動場所
- ・通学環境、通学の心配

中学校も同様の傾向。

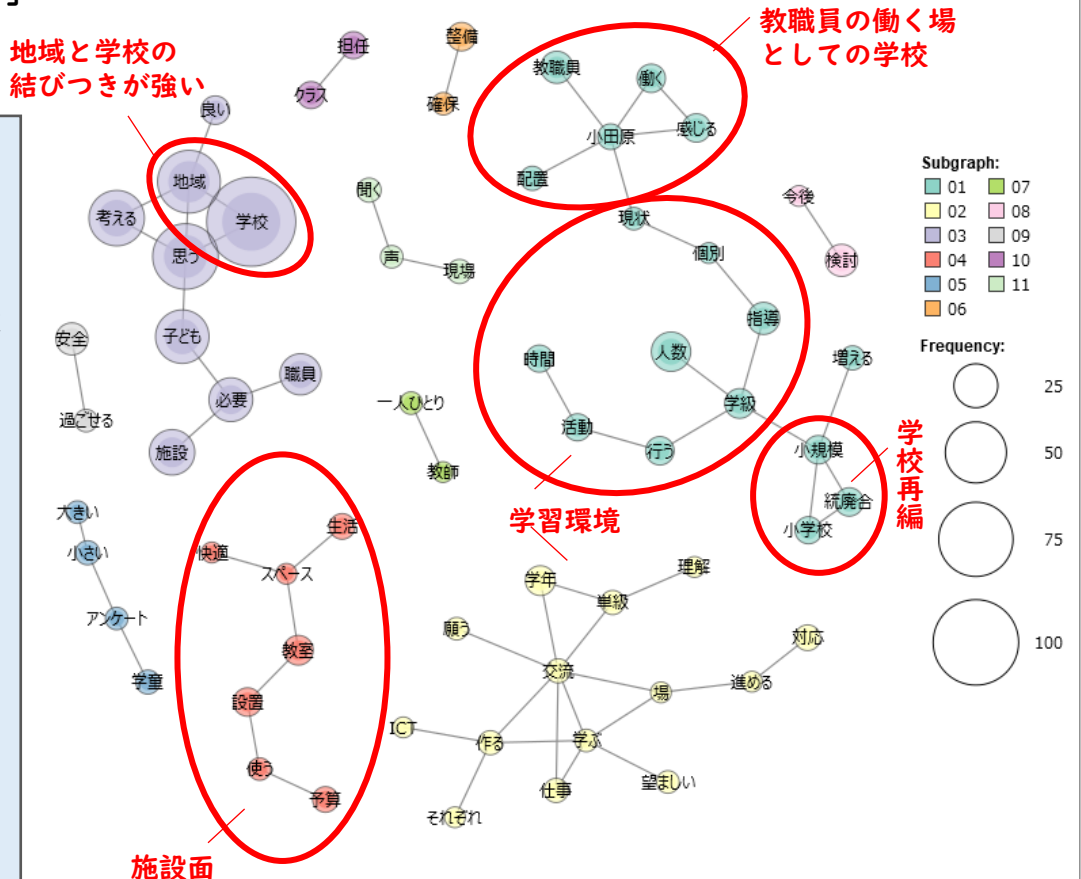


[共起ネットワーク] 教職員（小学校）

教職員（小学校）の意見や要望として、以下の項目が多いことが読み取れる。

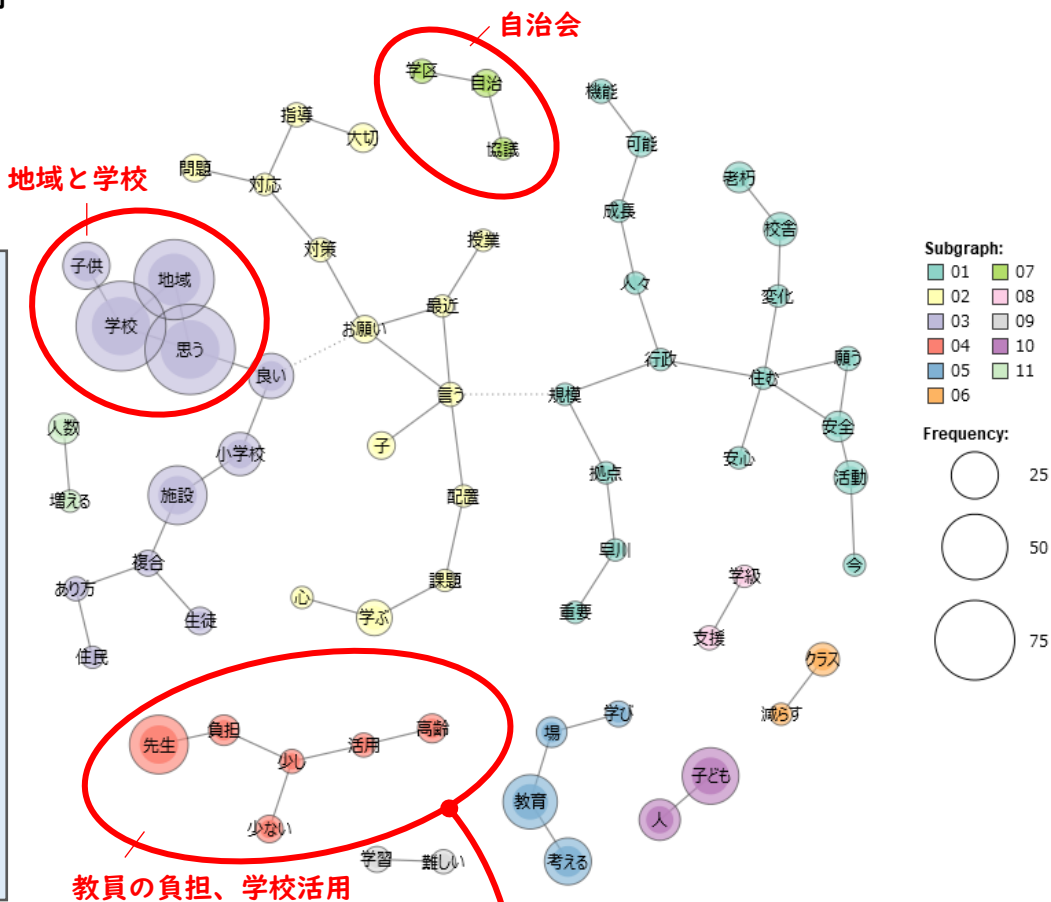
- ・学習環境
- ・施設面（スペース・設備・快適性・生活の場）
- ・地域と学校
- ・教職員の働く場としての学校
- ・学校再編

教職員では、保護者に比べて“地域と学校の結びつき”を強く考えていることが読み取れる。また、保護者にはなかった視点として「学校再編」についても意見も出ている。



○新しい学校づくりに対する意見や要望（782件）

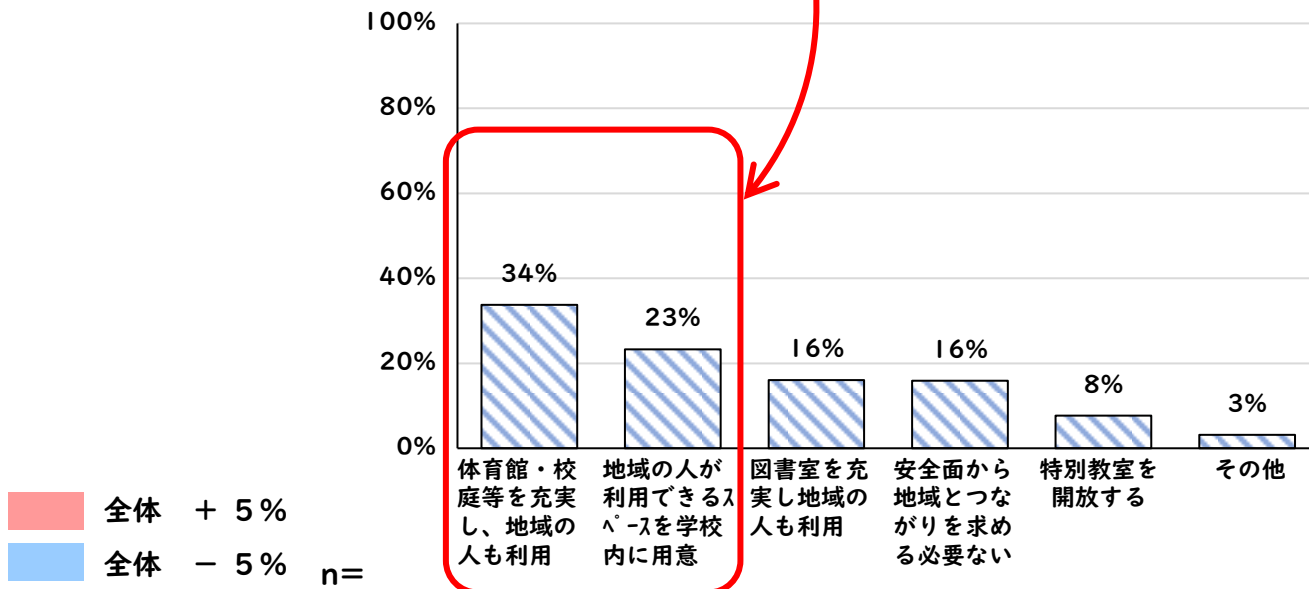
[共起ネットワーク]
地域（小学校）



地域（小学校）の意見や要望では、「地域と学校」のつながりを強く考えていることが読み取れる。

その他「自治会」「教員の負担」「高齢化・学校活用」などの項目が多い。これは、空き教室等の有効活用・複合化に期待する考えと、教員の負担増にならない配慮が必要ないことをあわせて考えていることが推察できる。

○学校施設と地域とのつながりについて ※3つまで選択



全体 + 5%
全体 - 5%
n =

全体		1,587	33.8%	23.3%	16.1%	15.9%	7.7%	3.2%
教職員	小学校	697	35.3%	20.9%	15.1%	18.1%	6.6%	4.0%
	中学校	407	32.9%	18.9%	17.4%	22.1%	5.4%	3.2%
地域	小学校	360	32.2%	29.7%	15.8%	8.1%	11.7%	2.5%
	中学校	123	32.5%	32.5%	17.9%	6.5%	9.8%	0.8%

特に“活動場所（居場所）”の必要性を感じている